

テーマ：室内環境について

技術情報の『3. 11大震災後・・・無暖房で暮らせた人の証言レポート』でやはり性能の良い家は、無暖房でも15℃以下には減多にならないことがわかりました。

そこで気になるのが被災者が仮設住宅に何年か住まわれることになり、電力不足により東北電力・東京電力は節電または停電の場合もありうる状態が今後予想されます。いったいどのような室内温度の環境になるのでしょうか？ 調査してみたいですね。



ネットに出ている仮設住宅の写真

先日私も仙台に出向きいろいろと直接話が聞くことができました。仮設住宅の内部は設備も一通り揃っているので仮説にはなかなか良い住宅になっているとのこと。



左写真（ネットより）で見ると本当に仮設住宅なのかと思うくらい良い状態ですね。

古いアパートよりは仮設住宅の方が良い気がします。

いろいろと調べたところ、2004年中越地震での仮設住宅で「寒冷地仕様」と言われる物の改良版が今回の震災で多く建てられるそうです。「耐雪2.0mを表示する」や「天井裏の断熱材を100mmにする」が中越地震での仮設住宅概略にあるそうです。この情報は下記のアドレスより入手しました。

「仮設住宅の居住性」長岡技術科学大学 木村悟隆 様の論文です。

<http://coastal.nagaokaut.ac.jp/~jisin/report/2-14.pdf>

結露状態の写真もあって内容は非常に興味深いです。